

## 進路指導のつづき

### 進路指導とは

進路事務とは違います。進路事務を進路指導と間違えていませんか。

### 桜の花の散る前に何をすることが重要

入学時の思いをいつまでも  
ニーズの把握とその公開  
1週間で全員の面談を  
やりながら変えていく

### こんな教員をどう変えるか

次のような考えの教員に対してどう切り替えたらいいのでしょうか。

「学校は予備校ではありません」  
「私のクラスです。私のやり方があります」  
「それは進路の仕事です。担任の仕事ではありません」  
「今年も昨年と同様で」  
「私は進路指導が苦手です」  
「進路進路とそんなにあおらなくても」  
「うちは公立高校です。そんなにやったら私立高校みたいになってしまいます」  
「どこも同じが公立高校のいいところです」  
「親もこの大学でいいって言っています」  
「そんなこと生徒に言ってもしょうがない」  
「うちの生徒じゃ無理です」  
「部活をやっていれば普通の勉強なんてしていなくても、3年の引退後からやれば大丈夫」  
「部活を3年間しっかり続けた生徒は粘りが違いますから」  
「勉強したいからと言って、途中で部活をやめ勉強できるようになったやつはだれもいません」

### 心にしみる山本五十六語録

「やってみせ 言って聞かせて させて見せ ほめてやらねば 人は動かじ」  
「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」  
「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」

### 生徒どう変えるか

もはや中学生ではない  
低学年でどう変えるか  
年間（3年間）指導計画を示せ  
受験は団体戦  
本当のライバルは周りにいない  
入試は定期試験ではない

### 生徒を勇気付ける（弱気な生徒をどう変えるか）

短期のがんばりの積み重ねが目標達成の糧となる  
ピンチこそチャンスだ  
地方にまけるな  
都会にまけるな  
私立高校にまけない  
何をやればいと質問されたら

### 保護者を味方につける

親をその気にさせる  
保護者説明会を利用する

大学の魅力を親にこそ伝える  
PTA広報の利用  
どんどん子供をほめる  
親のプライドを味方に  
子供の受験を楽しむ親になる

保護者面談でこんな保護者にどう対応するか

この子はやればできるのですけれど・・・  
今からやればまだ間に合いますか・・・

今一つを変える

模擬テストを利用する  
データで示す  
予備校などとの連携  
施設の整備

次のために

先を見越す  
学校説明会をどう乗り切る  
週刊誌や新聞を利用する  
浪人させてもよい生徒、させないほうが良い生徒  
浪人生との付き合い方

ワンランク上をめざして

面談は5分で、長さよりも回数を増やす  
自校の生徒をすばらしい生徒と本気で思えるか  
生徒に教えてもらう勇気を  
効果が無いと思ってもとりあえずやってみる。やってみて考える。

進路指導担当となったら

管理職の理解をどう得るかをいつも考える  
次の自分を育てろ。それで自分も成長する。  
聞くことを恥ずかしがらない  
うまくいっている学校をまねる  
学校とは関係ない人たちとの付き合いが意外に役に立つ  
お金はかかって当たり前  
味方を増やす  
（自分も）外へ出る（メンバーも）外へ出す  
これはいい先生と思う先生を見つけ仲良くなる  
生徒の変化を見逃さない  
予備校に負けない  
公立高校なら公立高校らしさをどう捨てるか  
私立高校なら私立高校のプライドを捨てる  
文武両道の落とし穴→真の文武両道へ  
若い教員の力を頼る  
これでいいと思わない  
良い本をたくさん読む  
新聞を読む（読ませる）

おわりに

楽しくなければ進路指導ではない  
憂鬱になることも時には必要